



東北大学・仙台市共催



ノーベル平和賞受賞記念

日本被団協 代表委員 田中熙巳氏 講演会



平和な未来への歩み

～次世代へのメッセージ～

プログラム

- 開会の挨拶
- 「東北大学国際功労賞」授与
東北大学総長挨拶
- 仙台市長挨拶
- 講演
- 公開対談
- 閉会の挨拶

2024年12月、日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）がノーベル平和賞を受賞しました。今回、ノルウェーの首都オスロで行われた授賞式でスピーチを行った田中 熙巳さんが、講演を行います。ご自身が長崎で被爆した体験や、その後の核廃絶に向けた活動についてお話しされる予定です。ぜひ皆様、ご参加くださいませ。

令和7年3月21日(金)
14:00～15:20(13:15開場)
東北大学百周年記念会館 川内萩ホール

会場の駐車スペースは限られておりますので、公共交通機関をご利用ください。



田中 熙巳 氏 (たなか てるみ)

1932年、旧・満州国生まれ。1945年県立長崎中学に入学、同年8月9日13歳の時に自宅にて原子爆弾を被爆。1951年に学制改革後の長崎東高卒業。5年間の就労を経て、1956年東京理科大学に入学、同年8月長崎で開催された第2回原水爆禁止世界大会に参加。日本被団協の結成式に立ち会う。1960年東北大学工学部に助手として就職。助教授を経て1996年定年退職。同年4月十文字学園女子短期大学教授として就職。2003年定年退職。就労の傍ら、1973年に宮城県原爆被害者の会事務局長に、1978年と1982年にはニューヨーク国連本部で開かれた国連軍縮特別総会に代表団事務局長として参加。1985年から3年間、日本被団協事務局長に就任。2000年から2017年まで事務局長に再任、2017年から代表委員となり今日にいたる。2017年に核兵器廃絶国際キャンペーン (ICAN) がノーベル平和賞を受賞した際には授賞式に参列。2024年には日本被団協がノーベル平和賞を受賞し、ノルウェーの首都オスロで行われた授賞式では、代表委員として自身の被爆経験と国民の戦争被害に対する国の責任と核廃絶についてスピーチを行う。

どなたでも参加できます

3月6日(水)午前9時
申込受付開始

定員 500名 要事前申込
(先着順)

申込方法 電話またはFAX、Eメール、仙台市オンライン申請にて、お申し込みください。

申込必要事項:代表者名、参加人数、ご連絡先(電話番号)、年代

電話 022-214-1201 **FAX** 022-224-4404

Eメール som001110@city.sendai.jp

仙台市オンライン申請

<https://logoform.jp/form/3PrJ/913991>



地下鉄東西線「国際センター」駅下車 徒歩約5分
地下鉄東西線「川内」駅下車 徒歩約7分

お問い合わせ

東北大学国際企画課

Eメール:kokusai-kikaku.contact@grp.tohoku.ac.jp

電話:022-217-4843